

北見方面本部長からの メッセージ

犯罪や事故のない安心して暮らせるオホーツク地域をめざして！



▲H30.1.4 年頭あいさつ

オホーツク海沿岸にも流氷が姿を見せるなど、厳しい季節を迎えました。

この時期は、暴風雪により、視界不良となり方向感覚を失うなど、大変危険な状態となります。

被害を最小限に抑えるためには、最新の気象情報を確認するとともに、屋外での活動が危険と予想される場合は、外出を控えることなど自分の身を守ることに注意していただきたいと思います。

冬道における交通事故の防止

オホーツク地域における交通事故情勢につきましては、凍結路面によるスリップで正面衝突の交通死亡事故が2件発生し、2人の方が亡くなっているほか、交差点における安全不確認による出会い頭事故が多く発生しているなど、極めて憂慮すべき事態となっております。

今後も、厳しい天候が予想されますので、スリップによる正面衝突や路外逸脱などの重大事故、吹雪等視界不良による交通事故の発生も懸念されますことから

- 道路状況に応じた適切なハンドル及びブレーキ操作
- 安全速度と十分な車間距離の保持
- 交差点付近での早めの減速と安全確認

に心掛けて慎重な運転をしていただくなど、交通ルールの遵守と交通マナーを実践する思いやりのある運転に努めていただくようお願いいたします。



▲H30.1.10 年頭点検

サイバー空間の脅威について

インターネットは、日常生活に欠かせない社会基盤となっている一方、インターネットバンキングの不正送金、オンラインショップ詐欺、ランサムウェア等、国民生活を脅かすサイバー犯罪の温床ともなっています。

サイバー犯罪の手口は悪質・巧妙化しており、SNSなどのサービスが犯罪のツールとして悪用されることから、スマートフォン等の普及によって、企業だけでなく個人もサイバー犯罪に巻き込まれる危険性がこれまで以上に増大しています。

サイバーセキュリティは、一つの対策を講じれば大丈夫というわけではありません。インターネットを安全に利用するためには、セキュリティソフトを入れてシステムを最新に保つことはもちろん、複雑なパスワードの設定や多要素認証を活用することで侵入されにくくするなどの対策を講じることが必要であります

インターネットを利用する一人ひとりがサイバー空間の脅威を理解して安全に利用しましょう。

平成30年2月1日

北海道警察北見方面本部長 小西 伸一